

# 琵琶湖大橋（下り線）が土木学会選奨土木遺産に選ばれました。

## ○工事諸元（S39年建設当時）

|      |                           |
|------|---------------------------|
| 発注者  | 滋賀県                       |
| 工事件名 | 琵琶湖大橋(有料道路)製作架設工事         |
| 施工場所 | 滋賀県野洲郡守山町大字新田～滋賀郡堅田町大字今堅田 |
| 橋梁形式 | 3径間連続鋼床版箱桁橋、単純活荷重合成桁 24連  |
| 橋長   | 330m（橋梁全長 1,350m）         |
| 総鋼重量 | 2,266 t                   |

## ○工事概要

本橋は、建設当時においては国内最長（全長で1,350m）の橋梁であり、今回認定の理由となったのは3径間連続鋼床版箱桁部の中央径間が140mで同形式として国内最長であったことです。また、東京オリンピック（昭和39年10月10日開幕）に合わせて起工より1年半で施工を行い、中央径間については昭和39年7月7日に閉合を行いました。

本橋の特長として、湖上に独特のカーブを描き、湖を行き交う船舶に支障が無いよう設計されています。

土木学会選奨土木遺産には、令和3年度に谷瀬の吊り橋（奈良県）、平成14年度に美々津橋（宮崎県）が選ばれています。



仮組状況



架設状況



架設状況



完成状況